

施工管理アプリを活用した生産性向上
【株式会社 〇〇建設会社（本社：〇〇県〇〇市）】

（株）〇〇建設会社では、元請けである自社だけでなく、協力会社と一緒に、施工管理アプリを導入することにより、資料印刷や持ち運びの手間の削減、聞き漏れや手戻り等の防止、各種帳票作成時間の短縮等に繋げ、生産性の向上を図っている。

また施工管理アプリに不慣れな職員向けに、学習の機会を創設する取組も行っている。

■ 企業の概要

主な許可業種	土木一式工事業
資本金	4000万円
年間完成工事高	3億円以上 5億円未満
従業員数	10～29人
元請・下請割合	元請工事が主である
土木・建築割合	土木工事が多い(6割以上 9割未満)

■ 取組の具体的な内容

タブレット端末等から使用できる施工管理アプリの活用

- 元請職員や職長においてスマホやタブレット端末から使用できる施工管理アプリ（市販アプリの自社向け改良バージョン）の「工事情報のクラウド共有機能」、「チャット機能」、「帳票の自動出力機能」等の機能を活用しコミュニケーションの円滑化、事務作業の削減を図った。
 - ✓ 「工事情報のクラウド共有機能」では、元請・下請間で常に最新の図面等を共有することができ、現場で指摘した事項をその場で図面上にメモを残す等により、手戻りの防止に繋がった。
 - ✓ 「チャット機能」では、会話だけでなく補修箇所の写真を添付することができ、手戻りの防止や元請下請間での迅速な作業報告が可能となった。
 - ✓ 「帳票の自動出力機能」では、計測機器と連携させることにより計測結果がボタン一つで出力することができ、大幅な事務作業時間の短縮となった。

現場における元請・下請での
クラウド共有を利用した
打合せ風景

その1

現場における元請・下請での
クラウド共有を利用した
打合せ風景

その2

取組の背景

- 事務所と現場の距離が離れており、打合せの度に資料の印刷と移動に要する手間がかかっていた。
- 図面の枚数が多く、常に持ち歩くのが大変であった。
- 補修箇所について、電話でのやりとりにおいて齟齬が生じ、手戻りが発生していた。
- 現場作業が終わった後に帳票の整理・作成に伴い、長時間労働が常態化していた。

取組まれた効果や良かった点

クラウド共有による資料印刷や持ち運びの手間の削減

- 工事情報をクラウド共有することにより、現場においてもタブレット端末で図面等の工事資料を確認することができ、資料の印刷や図面等の持ち運びの手間を省くことができた。 ⇒ 資料印刷に係る時間が1回当たり1時間程度は削減

チャット機能による聞き漏れや手戻りの防止

- チャット機能を活用することにより、写真の共有や会話履歴を確認でき、聞き漏れや手戻りの防止に繋がるとともに、再確認の連絡や移動等の手間も省くことができた。

帳票整理作業の時間短縮

- 帳票の自動出力機能を活用することにより、整理作業の大幅な時間短縮となった。 ⇒ 帳票整理時間が概ね2～3割程度短縮、現場技術者の平均残業時間も○%減

取組の効果を得るために留意した点・工夫した点

協力会社と一緒に活用

- 元請である自社だけでなく、下請の企業も同じ施工管理アプリを活用することにより、工事全体の生産性を高めることができた。

施工管理アプリの習得機会

- 施工管理アプリに不慣れな職員に対しては、民間の講習会や社内勉強会に参加することで、操作方法等について学ぶ機会を作った。

アプリの操作方法を学ぶ
社内勉強会の風景

取組の
ポイント

カテゴリー	ITツールの活用、 情報共有システムを活用した書類授受の省力化
キーワード	タブレット端末、施工管理アプリ、クラウド共有、 チャット、帳票自動出力